

団体競技 実施要領

【 玉 入 れ 】

《参加資格》・平成 19 年 4 月 1 日以前に生まれた者

《選 手 数》・10 名（男女不問）

《得 点》・参加チームを抽選により 7 チーム×2 組、6 チーム×3 組に分け、各組で 1 位から 7 位（6 位）まで順位を決定し、得点を与える。

《競技方法》①チーム 10 人で一斉に行う。

②スタートラインからかごの位置まで走り（30m）、地面に置いてある玉を拾って投げる。（玉 50 個、ボールの高さ 4.0m）

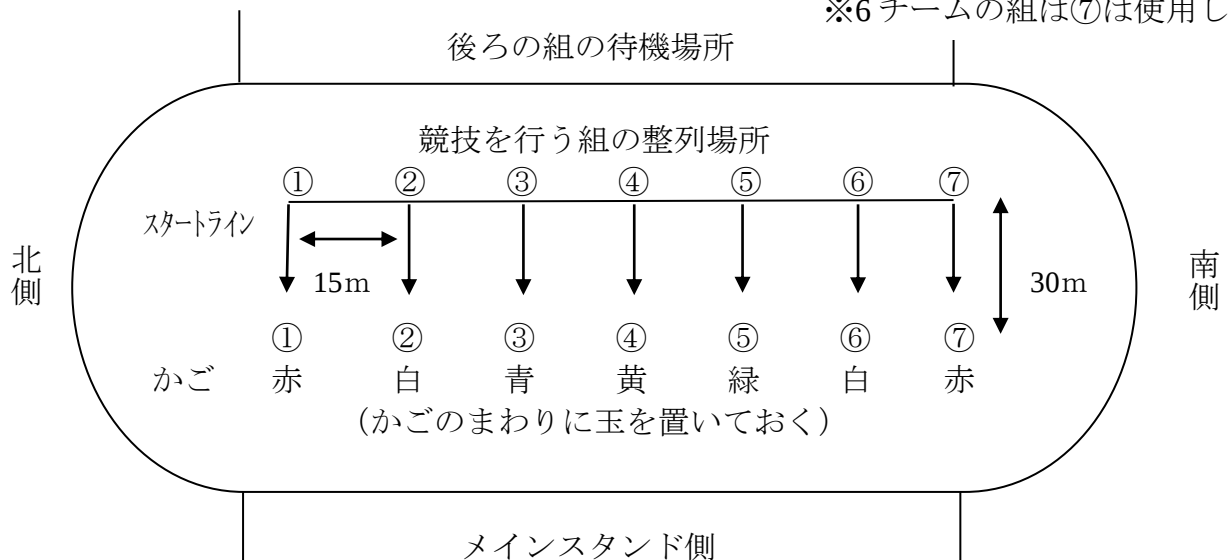
（校区ごとに決められた色の玉を、同じ色のかごに入れる。他の色の玉が入っていてもカウントしない。）

③競技時間は、スタートの合図から 45 秒間とする。

④終了の合図があったら、すぐにその場にすわる。

（終了の合図後に投げた玉は、カウントしない。）

※6 チームの組は⑦は使用しない



《担当スポーツ推進委員》

総指揮者	レーン		招集・誘導		用具兼サポーター・カウンター		記録・得点
				次準備	サポーター（柱保持・投）	カウンタ（受）	
スターター	1 レーン	赤					
	2 レーン	白					
時 計	3 レーン	青					
	4 レーン	黄					
放 送 係	5 レーン	緑					
	6 レーン	白					
	7 レーン	赤					

※人員配置については、関係団体と協議・調整のうえ決定いたします。

【 みんなでジャンプ 】

《参加資格》・小学4年生以上

《選 手 数》・13名（指揮者1名 縄係2名 選手10名）男女不問
（ただし、ふるさと枠対象小学校区に限り、小学校学級人数等の都合による選手の増員は認める）

《得 点》・参加チームを抽選により7チーム×2組及び6チーム×3組に分け、各組で1位から7位（6位）まで順位を決定し、得点を与える。

《競技方法》①2分間で合計何回跳べたかを競う（連続回数を競うのではない）。

②終了の合図後に跳んだものはカウントしない。

③選手が、途中けがなどで跳べなくなった場合、指揮者または縄係と役割を交代し、競技を続行することができる。

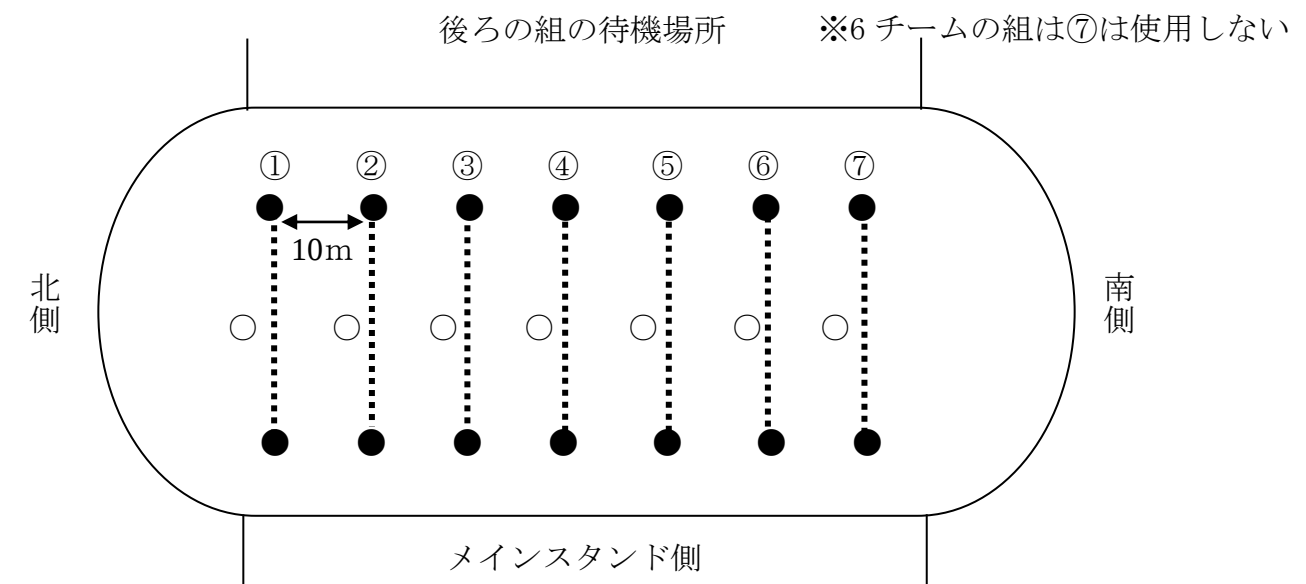
④やむを得ず、跳ぶ人数が9名以下になった場合は、その時点での跳んだ回数で順位を決定する。

⑤競技の開始前に1分間の練習時間を与える。

（練習終了から競技開始までのインターバルはとらない。）

⑥競技中、鳴り物の使用は禁止とする。

⑦大縄は、主催者が準備するものを使用し（縄の長さ10m）、大縄への目印等については禁止とする。また縄を手に巻くなど、短くして使用してはならない。その他、大縄に手を加えることを禁止とする。



《担当スポーツ推進委員》

総指揮者	レーン	招集・誘導		審判(用具)	記録・得点	
スターター			次準備			
	1レーン					
時 計	2レーン					
	3レーン					
放 送 係	4レーン					
	5レーン					
	6レーン					
	7レーン					

人員配置については、関係団体と協議・調整のうえ決定いたします。

【大玉ころがし】

《参加資格》・平成22年4月1日以前に生まれた者

《選手数》・8名（男女各4人、合計8人）

《得点》・参加チームを抽選により7チーム×2組、6チーム×3組に分け、各組で1位から7位（6位）まで順位を決定し、得点を与える。

《競技方法》①1チーム8人のリレー形式で行う（女子・男子の交互）。

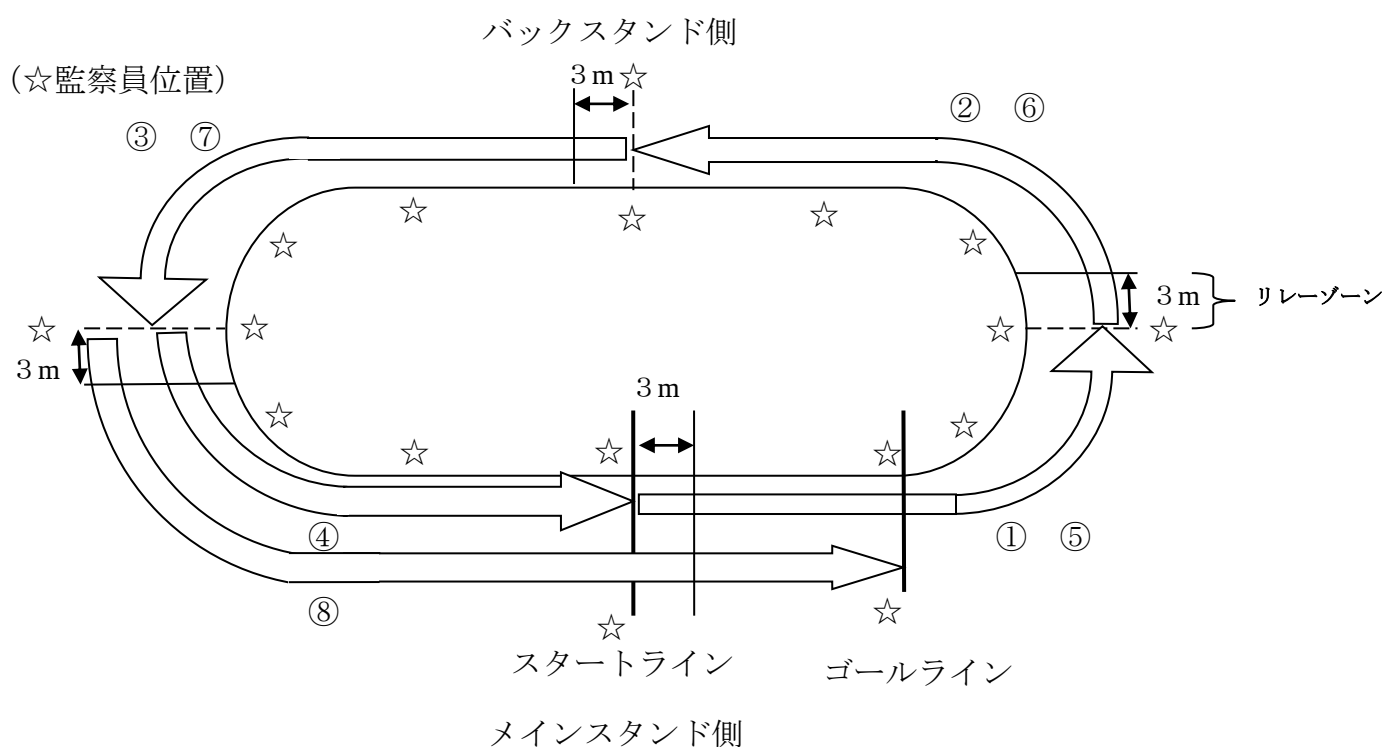
②距離は一人100m。（アンカーは150m）

③大玉を転がしながら進む（持ちあげて進んではならない）。

④大玉と櫓の受け渡しは、指定されたリレーゾーン（3m）で行う。

⑤走者が櫓を落とした場合、走者は大玉をその場で残して櫓を取りに行く。

⑥第8走者の大玉と選手の両方がゴールラインを越えた時点でゴールとする。



《担当スポーツ推進委員》

総指揮者	責任者	招集・誘導		監察(用具)	記録・得点	
			次準備			
スターター						
計時	1レーン					
	2レーン					
	3レーン					
放送	4レーン					
	5レーン					
	6レーン					
	7レーン					

※人員配置については、関係団体と協議・調整のうえ決定いたします。

【ストラックアウト】

《参加資格》・平成22年4月1日以前に生まれた者

《選手数》・6名（女子3名 男子3名）

《得点》・参加チームを抽選により7チーム×2組、6チーム×3組に分け、各組で1位から7位（6位）まで順位を決定し、得点を与える。

《競技方法》①9枚のカード板をめがけてボールを投げる。（1人2球・計12球）

②ボールで貫いて落としたカード板の数字の合計が得点となる。

③カード板ではない部分（フレームなど）にボールが当たった場合、カード板が落ちてても得点にはならない。

また、ノーバウンドで当たらなければ得点にはならない。

④ボールが当たったのがフレームかカード板かの判断が難しい場合の得点については、審判の判断による。

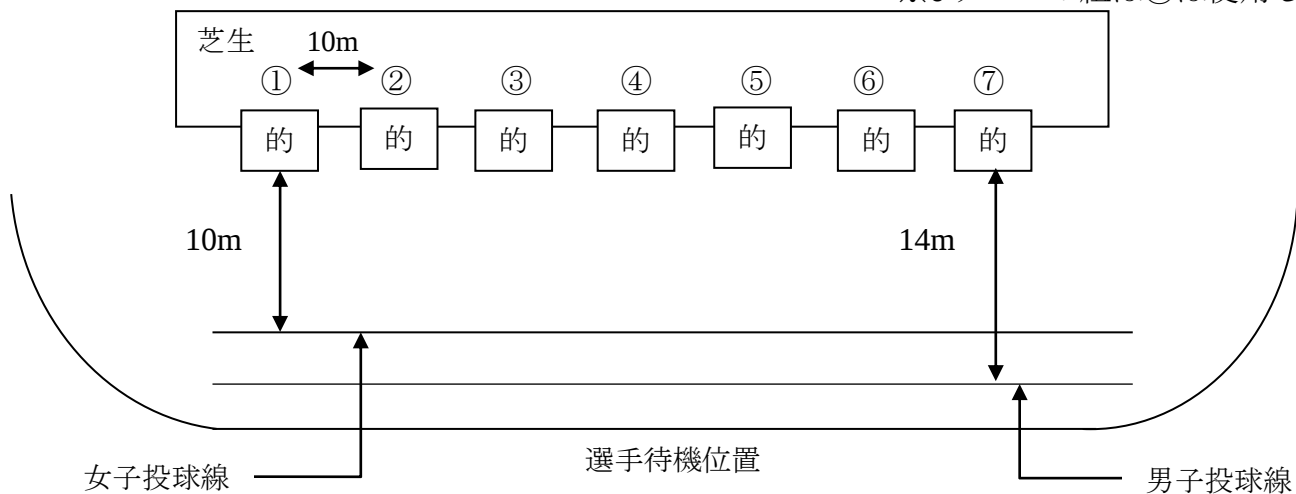
⑤投げる距離〔女子10m 男子14m〕

⑥投球は、軸足が必ずラインを踏んで投げる。

⑦投げる順序〔女子・男子と交互に1球ずつ投げる〕

⑧役員の指示により、全チームが1球ずつ一斉に投げる。

※6チームの組は⑦は使用しない



《担当スポーツ推進委員》

総指揮者兼 合 図	レーン	招集・誘導		記録・得点		用具（球の回収）
		投球側	的側			
放 送 係	1 レーン					
	2 レーン					
	3 レーン					
	4 レーン					
	5 レーン					
	6 レーン					
	7 レーン					

※人員配置については、関係団体と連絡・調整のうえ決定いたします。